社会資本整備総合計画

平成３１年　４月　　日

計画の名称	加東市における循環のみちの実現	重点計画の該当	
計画の期間	平成28年度　～　平成32年度　（5年間）	交付対象	加東市

計画の目標

下水道整備事業を行い、安全・安心、快適な暮らしの実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

未普及地整備面積率を0%(H28)から100%（H32)にする。
効率的な施設計画作成件数を0計画（H29）から２計画（H32）にする。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)	備考
未普及地整備面積率（%） ＝未普及地整備済面積（ha）　/　未普及地整備目標面積（ha）　(12ha)	0%	40%	100%	
効率的な施設計画作成件数 ＝計画策定済件数（計画）　/　計画策定目標件数（２計画）	0計画	２計画	２計画	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	163百万円	A	163百万円	B		C	0	D	0	効果促進事業費の割合	0.0%

交付対象事業

A１　下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）	個別施工計画策定状況	備考
1-A1-1	下水道	一般	加東市	直接	－	汚水	新築	上中地区汚水管整備	汚水管　φ150～φ200　L=1500m	加東市						43.00		
1-A1-2	下水道	一般	加東市	直接	－	汚水	新築	西古瀬地区汚水管整備	汚水管　φ150　L=710m	加東市						25.00		
1-A1-3	下水道	一般	加東市	直接	－	汚水	新築	滝野工業団地汚水管整備	汚水管　φ75　L=390m	加東市						30.00		
1-A1-4	下水道	一般	加東市	直接	－	汚水	新築	社地区汚水管整備	汚水管　φ150　L=435m	加東市						20.00		
1-A1-5	下水道	一般	加東市	直接	－	汚水	新築	公共下水道処理区の効率的な見直し（加古川流域処理区）	効率的な施設整備計画の作成	加東市						29.00		
1-A1-6	下水道	一般	加東市	直接	－	汚水	新築	公共下水道処理区の効率的な見直し（東条処理区）	効率的な施設整備計画の作成	加東市						16.00		
															小計（下水道事業）	163.00		
															合計	163.00		

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）		備考
														合計			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）		備考
														合計			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）		備考

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

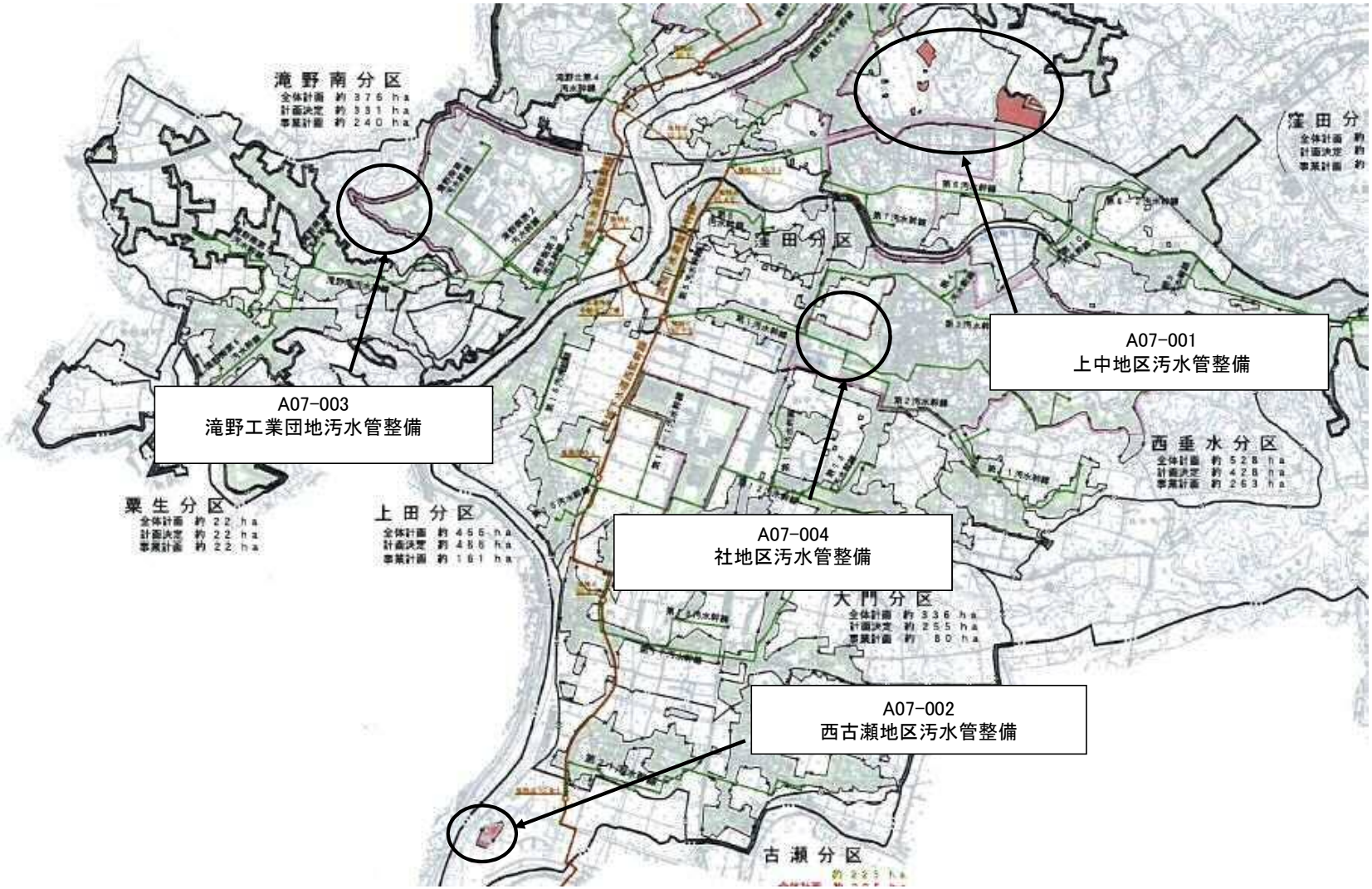
（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	13	10	47	34	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	13	10	47		
前年度からの繰越額 (d)	0	11	0		
支払済額 (e)	5	21	47		
翌年度繰越額 (f)	11	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	1	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	7.7%	0.0%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

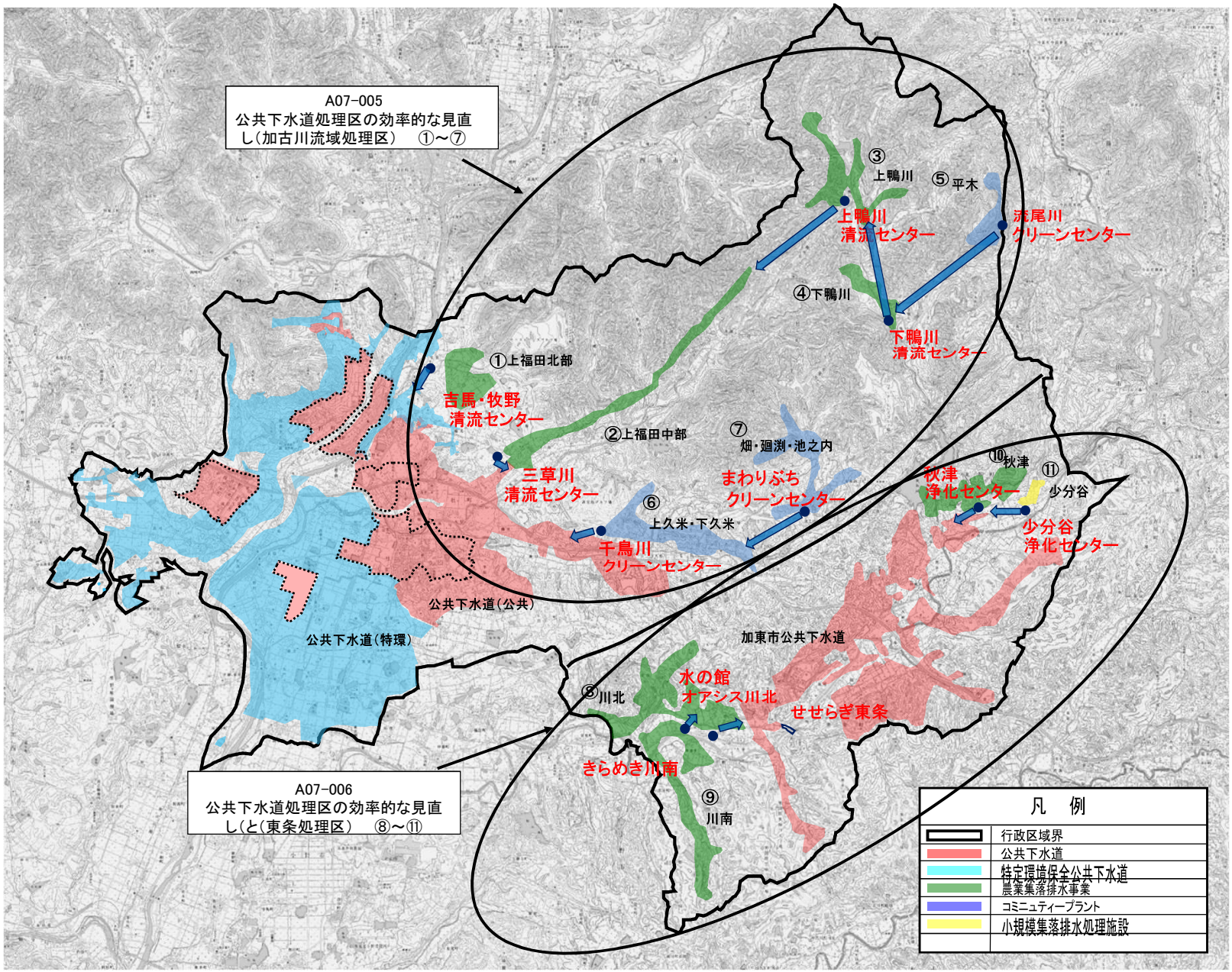
※　平成２８年度以降の各年度の決算額を記載。

（参考図面）

計画の名称	加東市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成28年度　～　平成32年度　（5年間）	交付対象	加東市



下水道法による事業計画区域


A07-005
公共下水道処理区の効率的な見直し（加古川流域処理区）　①～⑦
A07-006
公共下水道処理区の効率的な見直し（と（東条処理区）　⑧～⑪
③
上鴨川
⑤平木
上鴨川
清流センター
渋尾川
クリーンセンター
④下鴨川
下鴨川
清流センター
①上福田北部
吉馬・牧野
清流センター
②上福田中部
⑦
畑・廻渕・池之内
三草川
清流センター
まわりぶち
クリーンセンター
⑥
上久米・下久米
千鳥川
クリーンセンター
⑩秋津
⑪
少分谷
秋津
浄化センター
少分谷
浄化センター
公共下水道（公共）
公共下水道（特環）
加東市公共下水道
⑧川北
水の館
オアシス川北
せせらぎ東条
きらめき川南
⑨
川南
凡　例
行政区域界
公共下水道
特定環境保全公共下水道
農業集落排水事業
コミニュティープラント
小規模集落排水処理施設

社会資本整備総合交付金チェックシート

（水の安全・安心基盤整備（下水道関係））

計画の名称：加東市における循環のみちの実現　　事業主体名：加東市

	チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1）上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
2）下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
3）関連する諸計画と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
Ⅱ．整備計画の効果及び効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
1）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
1）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1）十分な事業効果が確認されている。	○
2）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
Ⅲ．整備計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
⑧地元の機運	
1）事業実施に向けた機運がある。	○
2）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○